

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公開番号】特開 2006-140752(P2006-140752A)

【公開日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【年通号数】公開・登録公報 2006-021

【出願番号】特願 2004-328366(P2004-328366)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/34 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 6 B

H 0 4 L 12/28 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線端末の位置検出を行う無線位置検出システムであって、
無線基地局と無線端末とが信号の送受信を行い、
前記無線基地局と前記無線端末との少なくともいずれかは、
位置検出用の信号を送信する場合は到達距離が長くなる送信パラメータを設定し、
位置検出用以外の信号を送信する場合は電波環境に応じた送信パラメータを設定すること
を特徴とする無線位置検出システム。

【請求項 2】

前記位置検出用の信号を送信する場合は到達距離が最も長くなる送信パラメータを設定
することを特徴とする請求項 1 記載の無線位置検出システム。

【請求項 3】

位置検出用の信号を送信する送信パラメータとして、最も低い通信レートを設定するこ
とを特徴とする請求項 1 記載の無線位置検出システム。

【請求項 4】

位置検出用の信号を送信する送信パラメータとして、最も長いプリアンブル長を設定す
ることを特徴とする請求項 1 記載の無線位置検出システム。

【請求項 5】

位置検出用の信号を送信する送信パラメータとして、最大の送信電力を設定することを
特徴とする請求項 1 記載の無線位置検出システム。

【請求項 6】

位置検出用以外の信号を送信する送信パラメータとして、該無線基地局と該無線端末と
の間の通信に最適な通信スループットとなる送信パラメータを設定することを特徴とする
請求項 1 記載の無線位置検出システム。

【請求項 7】

前記位置検出用以外の信号は、ユーザデータであることを特徴とする請求項 1 記載の無
線位置検出システム。

【請求項 8】

無線端末の位置検出を行う無線位置検出システムにおける無線基地局であって、
位置検出用の信号を生成する位置検出信号生成部と、
前記位置検出用の信号及び位置検出用以外の信号の送信パラメータを設定する送信部と

、
前記無線端末への信号を送信するアンテナとを有し、

前記送信部は、位置検出用の信号を送信する場合は到達距離が長くなる送信パラメータを設定し、位置検出用以外の信号を送信する場合は電波環境に応じた送信パラメータを設定することを特徴とする無線基地局。

【請求項 9】

無線端末の位置検出を行う無線位置検出システムにおける無線端末であって、
送信信号生成部と、

前記送信信号生成部により生成された信号のうち、位置検出用の信号及び位置検出用以外の信号の送信パラメータを設定する送信部と、

無線基地局への信号を送信するアンテナとを有し、

前記送信部は、位置検出用の信号を送信する場合は到達距離が長くなる送信パラメータを設定し、位置検出用以外の信号を送信する場合は電波環境に応じた送信パラメータを設定することを特徴とする無線端末。